

③ 算数科の指導計画への教育目標・実践事項の具体化

例; 4年 「角」 「面積」

単元	時期	時間	指導目標	学習活動・内容	指導上の留意点・教育目標との関連
角	5 月 上 旬 ～ 5 月 中 旬	11	角の大きさ(7) ・回転してできる角の大きさの変化を観察させ、角のでき方や大きさを理解させる。	1. 教具でいろいろな角を作って観察する。 ①重ねた2本の半直線を少しずつ開いてできる角 ②角の書き方、名前のつけ方を確かめる。 ③三角定規で直角を単位とした角(1直角, 2直角, 3直角, 4直角)を調べる。	・半直線をひいた2枚のTPの上のTPを回して角を変える。 ・角の開き具合に着目させ、角を回転量としてとらえさせる。 ・観察法をよく理解させ、個別に調べさせる(Ⅰ-①-a) ・思考過程に3年の「角」を生かすようにする(Ⅰ-③-c) ・観察の過程で相互に協力し合うようにする(Ⅲ-③-c, ②-b, Ⅳ-②-b)・後片づけ(Ⅱ-③-c) ・角は基準の辺から左回りの方向に見ること。名称のつけ方も～
面 積	9 月 中 旬 ～ 10 月 上 旬	11	面積(2) ・直接比較することにより面積の概念を理解させる	1. 周囲の長さが同じ長方形と正方形の広さをくらべる ①長方形と正方形について調べる。 ・どちらが広いか予測 ・くらべる方法 ・まわりの長さの測定 ②写しとって重ねてくらべる。 ・切りとり重ねる操作 ・はみ出した部分も切りとってくらべる操作	・比較に使う長方形や正方形は周囲の長さの同じものを与えるのが効果的である。長さとの面積の概念が明確になる。 ・長方形と正方形は色分けしておいて切り離し後の混乱を防ぐ。 ・何を調べるのかをよく理解させてから操作に入る(Ⅰ-①-a) ・操作過程で不明の点については、進んで質問させる(Ⅰ-②-b) ・お互に教え合うことの大切さも指導する(Ⅲ-②-b, ③-c, Ⅳ-②-b)

時 案

(4) むすび

調査の結果によると、「各教科の指導計画に、教育目標を関連づけると、各教科の指導目標が不明確になるのではないか」との心配をするむきもあるが、この実践例のように、教育目標具体化の手順を地道にたどれば、教科の指導計画にも、教育目標を関連づけられると思われる。この際最も大切なことは、教育目標が各学級の実践事項まで具体的な児童生徒の行動としてとらえられていることが肝要である。そして、教科学習の中でねら

う児童生徒の目標行動と、教育目標でねらう目標行動との接点を明らかにして、学習過程のどこで何を関連づけることが、教育目標具現のために効果的かを把握しなければならないと考えるのである。この例では、授業実践例まで載せることができなかつたが、この指導計画によれば、学習過程の中で、教科でねらう目標と教科目標が融合した形で達成されることになり、先の心配は解消されると考えられる。